

# コミュニティ・スクールだより

金沢市立中村町小学校  
コミュニティ・スクール事務局  
令和4年5月27日 発行  
第1号

“学校が元気に！ 地域が元気に！” ～子どもの健やかな成長のために～

## 令和4年度コミュニティ・スクールが始まりました。

初夏の日差しに若葉がまぶしくかがやく季節となりました。保護者の皆様、地域の皆様、日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、ありがとうございます。

5月20日（金曜日）に第1回学校運営協議会が行われました。このコミュニティ・スクール事業は平成28年度よりスタートし、今年度で7年目となります。

### 令和4年度学校運営協議会委員を紹介します

石野 洋	(中村町公民館 館長)	体 徳 徳 徳 知 徳 知 知 知 体 体 知 徳 体
森田 輝雄	(社会福祉協議会 会長・地域学校協働本部地域コーディネーター)	
○外松 秀俊	(中村町校区子ども会連合育成委員会委員長)	
古屋 秀次郎	(中村児童館 館長)	
谷内 きみ枝	(地域学校協働本部地域コーディネーター)	
三好 公一	(交通推進隊中村支隊隊長)	
◎上林 雅彦	(元中学校長)	
石野 あや子	(元小学校長)	
大茂 勝	(泉中学校長)	
利波 光平	(中村町小学校 薬剤師)	
○山 将之	(中村町小学校育友会 会長・地域学校協働本部地域コーディネーター)	
橘 敬祐	(中村町小学校育友会副会長)	
荒川 恵美	(中村町小学校育友会副会長)	
河村 真吾	(中村町小学校長)	

(敬称略)

◎は会長 ○は副会長

知 徳 体は、分科会名

## 第1回学校運営協議会の報告

今回は、全体会で学校経営方針や子供の様子などについて、説明が行われました。説明を受けて、委員の方々からの質問や意見交流がありました。主な内容は以下の通りです。頂いたご意見を今後活かしていきます。

- ◆学力の低下が見られるとのことだが、どの層の子供の学力が落ちてきているのか？  
→勉強の苦手な子供達の学力が落ちてきている。以前は、そのような子供達のために中村塾や補充教室等があったが、コロナ禍でなくなってしまった。
- ◆コロナ禍になってタブレットを使用するようになったり、携帯電話やスマートフォンの所持率が上がったりして画面を見る機会が多くなったことで、子供たちの視力が下がってきている。また、SNS等により、大人と子供が簡単に繋がりやすい環境になり、危険が潜んでいる。  
→情報機器の使用をやめさせるのではなく、どう使うのかなど上手な付き合い方の指導が大切になる。

次に、各分科会に分かれて今後行っていきたい取組などについて協議しました。概要をお知らせします。

	「知」の分科会	「徳」の分科会	「体」の分科会
話し合われたこと（今後の取組みなど）	<p>○中村塾</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催の方向で考えていく。勉強が苦手な子供に力と自信を与え、テスト等での無回答を減らしていきたい。参加する子供は、「行きたい」という思いをもっている子供に参加させてほしい。</li> </ul> <p>○学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一部教科担任制に取り組んでいくことは良い。先生方の負担軽減にもなる。</li> <li>・デジタル教科書やクロームブック等のデジタル化が進んでいるが、ノートなどのアナログなものも大切にしていける必要がある。</li> <li>・テストの内容が中学校になるととても難しくなる。高学年ごろを目安に、少しずつ問題数の多いテストや難しい問題にも取り組ませてほしい。</li> </ul> <p>○家庭学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年で内容を合わせる。また、配布している『家庭学習のすすめ』も、学年の実態に応じて、重点的に取り組むものを一つ決めてみてはどうか。</li> </ul>	<p>○地域との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナが広がったことにより、子供達と地域の方との交流が減ってしまった。中村町小学校でも例年行っていた、1年生の『昔遊び』での交流や、5年生の善隣館との交流などを復活していきたい。そうすることで、地域はもちろん、子供達に豊かな心を育むことができるのではないかと。</li> </ul> <p>○携帯電話やスマートフォン等について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各家庭に、家庭での様子やルール作り等のアンケート調査を行ってみてはどうか。参考になるルールを保護者に啓発し、使い方について各家庭で考えられるようにしていきたい。</li> </ul> <p>○あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちへの指導も大切だが、親への呼びかけも大切だと思う。あいさつについても、アンケートを行い、家庭でのあいさつの実態を知りたい。</li> </ul>	<p>○体力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力テストの結果をみると、子供たちの体力の伸びに鈍化が見られる。そこで、今年度のスポチャレの取組は一種目に絞るのではなく、全種目に取り組み、体力の向上を図っていきたい。</li> <li>・学校だけでなく、地域でできる活動はないのか模索していきたい。コロナ禍前に実施していた陸上教室やツエーゲン教室の再開も考えていきたい。</li> </ul> <p>○生活リズム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活リズムの乱れが体力の低下に繋がっているのではないかと。遅刻する子供も多く、低学年でも夜遅くまでYouTubeを見たり、ゲームをしていたりして、授業中も眠たそうにしている。</li> <li>・育友会行事として、厚生委員会で生活リズムに関する学習会を開催し、保護者にも啓発を行っていきたい。</li> </ul>
			

全体会や分科会でいただいたご意見については、今後の教育活動にできることから生かしていきたいと考えています。